

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インバウンドの聖地山ノ内町での外国語実践研修&人材育成事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター 090-9362-8776 (石坂携帯)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,369,985 円 (うち支援金: 977,000 円)

事業内容

対象者：高校生、専門学校生、大学生
時期：令和5年6月～9月、令和6年1月～3月
(募集期間：令和5年6月、11月～12月)
場所：事前勉強会：オンライン
研修：山ノ内町内宿泊施設
事業内容：1、座学(観光学、山ノ内町について、旅館経営学、地域活性化、ホテル英語等)2、現地での研修(旅館研修、アクティビティ研修、フィールドワーク)3、外国語実践研修(外国人対応を学生が行う)
長期プログラム参加者 夏52名、冬29名
日帰りプログラム参加者 秋29名

総合計 110 名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1、山ノ内町の主産業である観光業について、主体的に学生が参加することにより就業への理解を深めることができた。
- 2、学生から宿泊施設へ就業体験のフィードバックをすることで、採用活動へのヒントを各宿泊施設は得ることができた。
- 3、既存スタッフでは外国人対応が難しかったが、語学を習得したい学生が接客サポートをすることで、お客様からの滞在満足度が上がり、学生も語学を上達させることができ、宿も売上増加につながり三方良しとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3年間事業に取り組ませていただいた結果、参加者の約25%は観光業への就職を選んでいる(各参加大学教授への聞き取り)ことから観光業への就業マインド促進には一定の効果があったと考えている。

今後は他の地域ではなく、山ノ内町または長野県への就業促進を図るようなプログラムを開発したい。また、3年間補助いただいたプログラムは当団体で困うものではなく県内でインターンシップを開催したい各種団体に積極的にノウハウを提供し横展開していきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【研修の成果発表をする大学生】

【目標・ねらい】

- ① 観光業への就業促進
- ② 外国語を使える人材の育成
- ③ 若者へ山ノ内町の認知拡大
- ④ 若者への異文化体験教育

※自己評価 【 A 】

【理由】

毎年多くの学生を集客することができ、一定数「観光業への就業」を達成できたことから。次は長野県内、山ノ内町への就業促進を図っていきたい。